

「統合管理～サイト作成とオープンデータの公開～」別冊 2

さくら開花情報の可視化

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 第 1 章 はじめに..... | 1 |
| 目的 | 2 |
| 開花情報閲覧アプリとは | 2 |
| 第 2 章 開花情報閲覧アプリ | 3 |
| 概要 | 4 |
| 利用データ..... | 4 |
| 作業フロー..... | 5 |
| データの作成..... | 6 |
| ステップ 1: 観測所ポイントの作成..... | 6 |
| ステップ 2: 開花情報の付与 | 9 |
| ステップ 3: シンボルの設定 | 13 |
| ステップ 4: 時間設定の有効化 | 15 |
| ステップ 5: Web レイヤーとして共有 | 16 |
| Webマップの作成..... | 20 |
| ステップ 1: Webマップの作成 | 20 |
| ステップ 2: ベースマップの設定 | 22 |
| ステップ 3: ラベルの設定 | 23 |
| ステップ 4: タイムスライダーの設定..... | 25 |
| ステップ 5: Webマップの保存 | 27 |
| 閲覧アプリの作成 | 30 |
| ステップ 1: アプリケーションの新規作成..... | 30 |
| ステップ 2: マップの作成 | 33 |
| ステップ 3: スライダーの設定 | 34 |
| ステップ 4: 情報の設定 | 35 |
| ステップ 5: 対話性の設定 | 36 |
| ステップ 6: テーマとレイアウトの設定..... | 37 |
| ステップ 7: アプリの公開 | 38 |



第 1 章 はじめに

目的

地方自治体及び地域気候変動適応センターの方が、動植物等のモニタリングデータを活用し、地域における気候変動影響情報の可視化を行う際の一助となる事を目的として、アプリケーション操作手順書を作成しました。

開花情報閲覧アプリとは

開花情報閲覧アプリは、過去の植物（当資料ではさくら）の開花情報等を時系列データとして表示するものです。

ここでは、ArcGIS Online が提供する Instant Apps というアプリケーションを利用してアプリを作成する方法について記載します。

ArcGIS Instant Apps

～マップとデータを簡単に操作できるようにする Web アプリをすばやく作成～

<https://www.esri.com/ja-jp/arcgis/products/arcgis-instant-apps/overview>

このアプリを活用する事で「各地で発生している気候変動影響」「市民の感じる温暖化の影響」等を取り纏めて効果的に情報発信することができるようになります。



第 2 章 開花情報閲覧アプリ

～時系列データの GIS 上での可視化～

概要

当資料では、気象庁が提供している「生物季節観測の情報」をもとにした「開花情報閲覧アプリ」作成手順について記載します。

さくらの開花情報をテーマにしていますが、汎用的な記載内容になっているため、他の生物季節観測データについても横展開が可能です。

利用データ

気象庁が提供している「生物季節観測の情報」データは以下の URL から入手可能です。

出典：気象庁「生物季節観測の情報」

<https://www.data.jma.go.jp/sakura/data/index.html>

また、開花情報の各地点（位置情報）は、本手順書では気象庁の気象官署の住所を使用しています。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/link/link2.html>

当資料では ArcGIS Pro 3.0.1を使用しています。

作業フロー

本手順書の作業フローを以下に示します。

データの作成 (ArcGIS Pro)

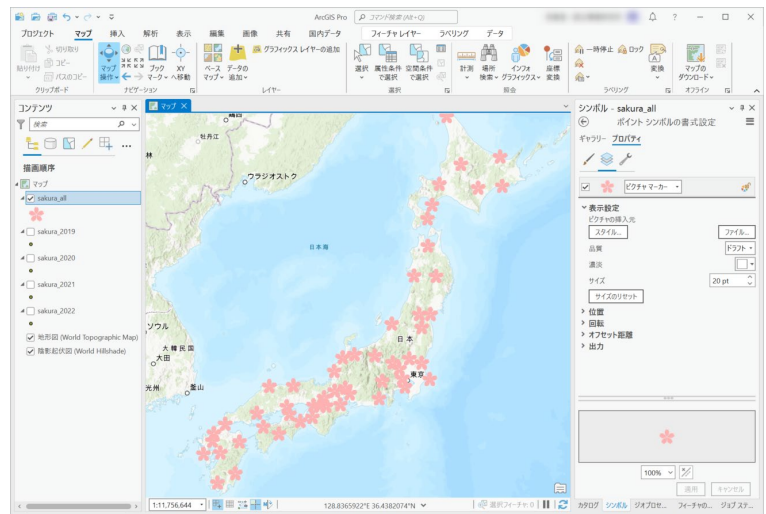
観測所ポイントの作成

↓
開花情報の付与

↓
シンボルの設定

↓
時間設定の有効化

↓
Web レイヤーとして共有



Webマップの作成 (ArcGIS online)

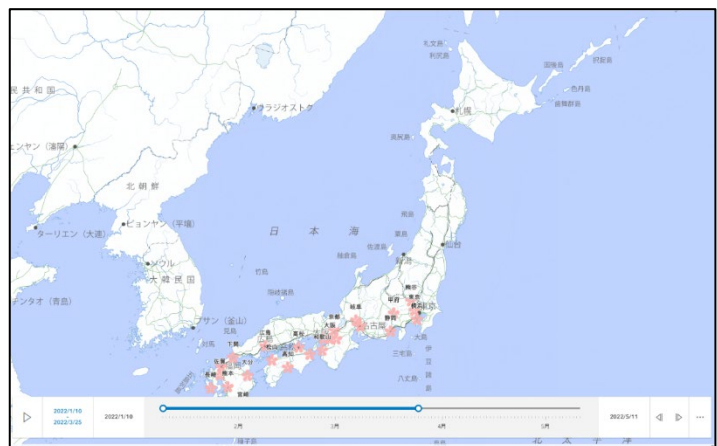
Feature Layer からWebマップ作成

↓
ベースマップの設定

↓
ラベルの設定

↓
タイムスライダーの設定

↓
Webマップの保存



閲覧アプリの作成 (ArcGIS Instant Apps)

マップの作成

↓
スライダーの設定

↓
情報の設定

↓
対話性の設定

↓
テーマとレイアウトの設定

↓
アプリの公開



完成

データの作成

ステップ 1: 観測所ポイントの作成

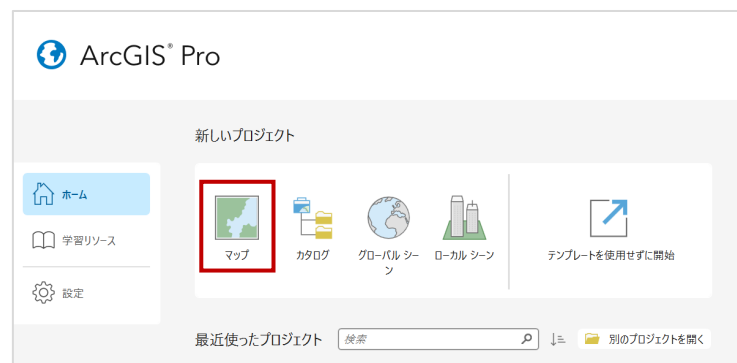
本手順書では、気象庁が公開している各気象官署の住所をもとに ArcGIS Pro で観測所のポイントデータを作成します。作成した観測所ポイントに対して、開花日の情報を付与していきます。

気象官署の住所一覧「<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/link/link2.html>」

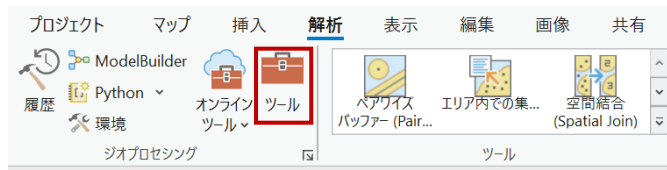
- ① 気象官署の住所一覧ページをもとに CSV ファイルを作成します。

| 1 | 気象官署名 | 郵便番号 | 所在地等 |
|----|----------|----------|-----------------------------|
| 2 | 札幌管区気象台 | 060-0002 | 北海道札幌市中央区北2条西18-2 |
| 3 | 函館地方気象台 | 041-0806 | 北海道函館市美原3-4-4 |
| 4 | 旭川地方気象台 | 078-8391 | 北海道旭川市宮前1条3丁目3番15号 |
| 5 | 室蘭地方気象台 | 051-0012 | 北海道室蘭市山手町2-6-8 |
| 6 | 釧路地方気象台 | 085-8586 | 北海道釧路市幸町10-3 釧路地方合同庁舎 |
| 7 | 網走地方気象台 | 093-0031 | 北海道網走市台町2-1-6 |
| 8 | 稚内地方気象台 | 097-0023 | 北海道稚内市開道2-2-1 稚内港湾合同庁舎 |
| 9 | 仙台管区気象台 | 983-0842 | 宮城県仙台市宮城野区五輪1-3-15 仙台第3合同庁舎 |
| 10 | 青森地方気象台 | 030-0966 | 青森県青森市花園1-17-19 |
| 11 | 盛岡地方気象台 | 020-0821 | 岩手県盛岡市山王町7-60 |
| 12 | 秋田地方気象台 | 010-0951 | 秋田県秋田市山王7-1-4 秋田第二合同庁舎 |
| 13 | 山形地方気象台 | 990-0041 | 山形県山形市緑野1-5-77 |
| 14 | 福島地方気象台 | 960-8018 | 福島県福島市松木町1-9 |
| 15 | 東京管区気象台 | 204-8501 | 東京都清瀬市中清戸3-235 |
| 16 | 水戸地方気象台 | 310-0066 | 茨城県水戸市金町1-4-6 |
| 17 | 宇都宮地方気象台 | 320-0845 | 栃木県宇都宮市明保野町1-4 宇都宮第2地方合同庁舎 |

- ② ArcGIS Pro を起動し、プロジェクトを選択します。既存のプロジェクトがない場合は、「マップ」をクリックして新規作成します。

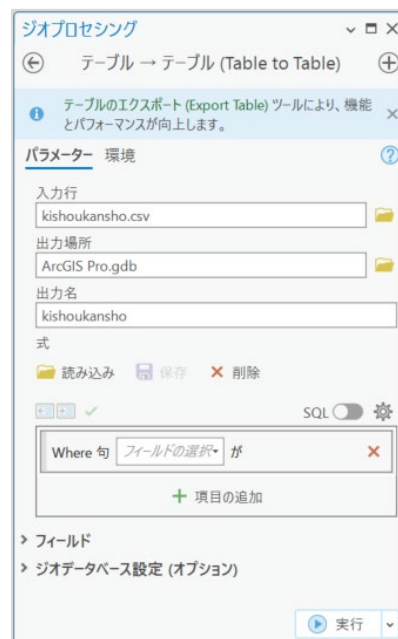


- ③ [解析] タブ > [ツール] の順でクリックし、ジオプロセッシング ウィンドウを起動します。



ジオプロセッシング ウィンドウの検索ボックスに「テーブル」と入力して、「テーブル → テーブル (Table To Table)」ツールを起動します。パラメータは以下のように設定し、[実行] をクリックします。

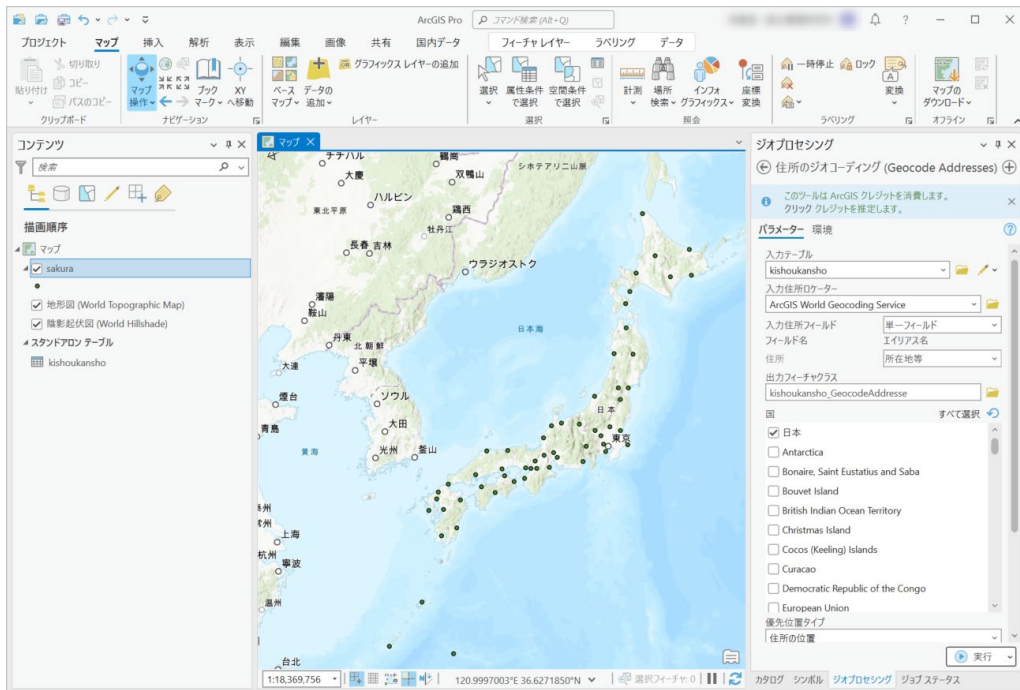
- 入力行：①で作成した気象官署の CSV ファイル
- 出力場所：任意のファイル ジオデータベース
- 出力名：任意のファイル名
- シート：住所が入力されているシート



- ④ ジオプロセッシング ウィンドウの検索ボックスに「住所」と入力して、「住所のジオコーディング (Geocoding Address)」ツールを起動します。パラメータは以下のように設定して [実行] をクリックします。

- 入力テーブル：③で出力したテーブル
- 入力住所ロケータ：ArcGIS World Geocoding Service
- 入力住所フィールド：単一フィールド
- フィールド名：所在地等
- 出力フィーチャクラス：任意のファイル ジオデータベース、ファイル名

● 国：日本



ArcGIS Pro のジオプロセッシング ツールの中には、ツールを実行することにより ArcGIS Online のクレジットを消費するものがあります。

「住所のジオコーディング」ツールは、1000件につき40クレジットを消費します。

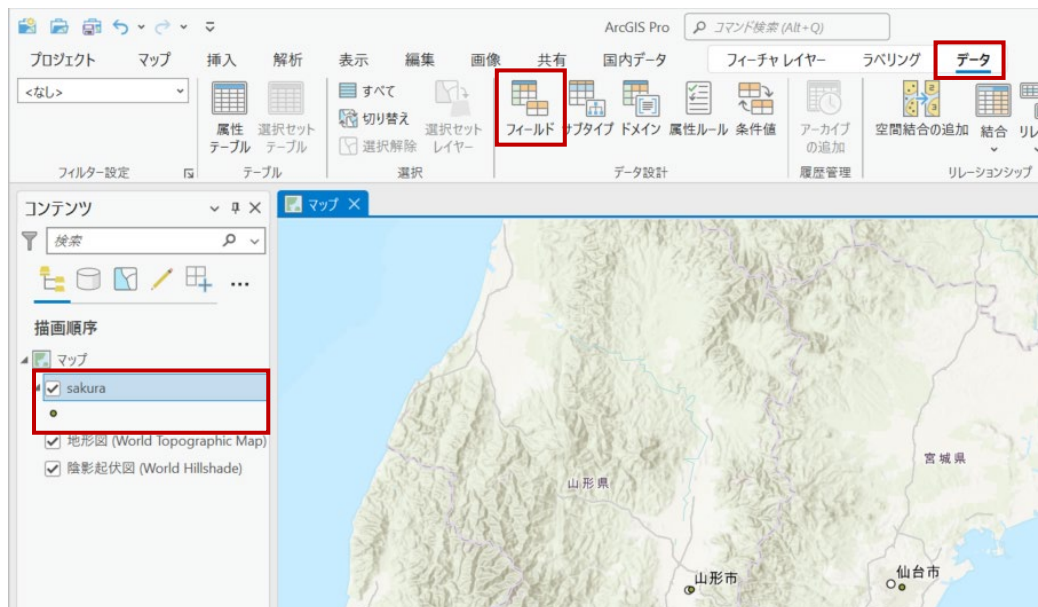
(参考)

クレジットの概要「<https://doc.arcgis.com/ja/arcgis-online/administer/credits.htm>」

ステップ 2: 開花情報の付与

ArcGIS Pro を利用して観測所ポイントデータにさくらの開花日情報を付与します。

- ① コンテンツ ウィンドウで観測所ポイントをクリックし、[データ] タブ内の [フィールド] をクリックします。



- ② 最下段の「ここをクリックして、新しいフィールドを追加します。」の上でクリックし、「開花日」と「開花年」のフィールドを新しく追加します。

【開花日】

- フィールド名 : bloomdate
- エイリアス : 開花日
- データタイプ : Date
- NULLを許可 : チェック

【開花年】

- フィールド名 : bloomyear
- エイリアス : 開花年
- データタイプ : Short
- NULLを許可 : チェック

| 現在のレイヤー | | sakura | | | | | | | | | |
|---------|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------|----------|-----------|-------------------------------------|--------------------------|------|------|--------|-----|
| | 表示 | 読み取り専用 | フィールド名 | エイリアス | データタイプ | NULLを許可 | ハイライト | 数値形式 | ドメイン | デフォルト値 | 長さ |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | OBJECTID | OBJECTID | Object ID | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 数値 | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | Shape | SHAPE | Geometry | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | name | 気象台 | Text | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | 255 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | bloomdate | 開花日 | Date | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | | | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | bloomyear | 開花年 | Short | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 数値 | | | |

ここをクリックして、新しいフィールドを追加します。

属性テーブルへの入力方法

ここでは、ArcGIS Proの属性テーブルに手入力する方法を記載していますが、より効率的な方法として以下のようなものがあります。

■ 開花年を一括入力

[ArcGIS Pro 3.4 逆引きガイド \(2025 年 2 月 14 日\)](#)

⇒9-12. 選択したデータの値を一括で変更したい

(ガイドではレコードを選択していますが、列を選択して一括変更も可能)

■ 開花日を入力したcsvをテーブル結合する

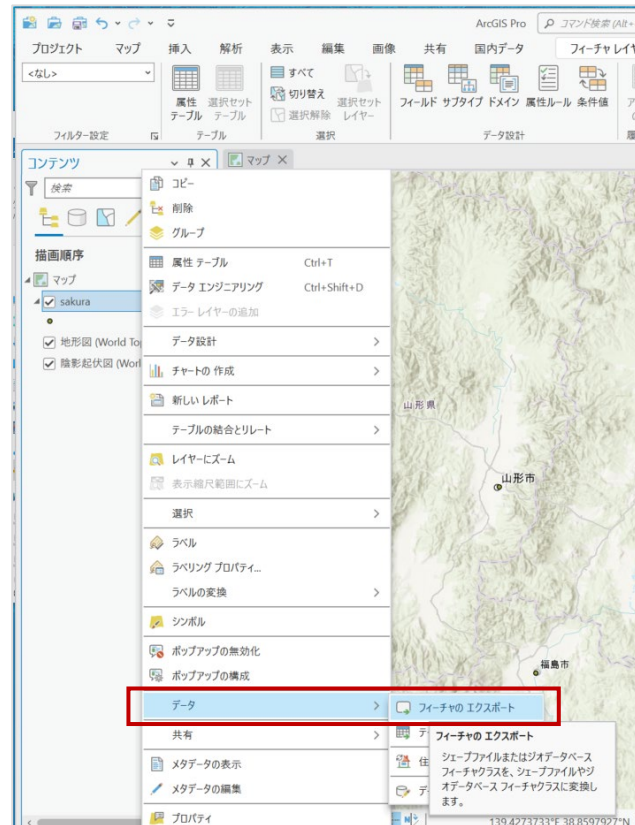
[Esriジャパンサポート「ArcGIS Pro: テーブル結合をしたい」](#)

- ③ コンテンツ ウィンドウで観測所ポイントを右クリックし、[属性テーブル] をクリックします。気象庁のページを参照し、数値を入力していきます。

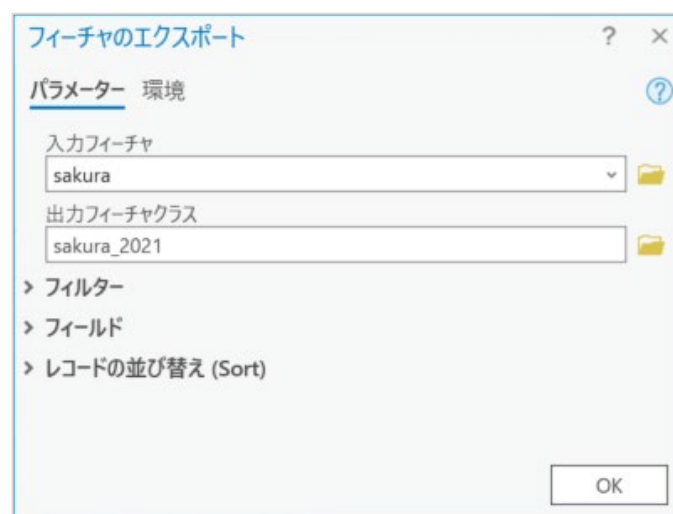
| OBJECTID | SHAPE | 気象台 | 開花日 | 開花年 |
|----------|-------|-----|------------|------|
| 1 | ポイント | 札幌 | 2022/04/23 | 2022 |
| 2 | ポイント | 稚内 | 2022/05/06 | 2022 |
| 3 | ポイント | 旭川 | 2022/04/26 | 2022 |
| 4 | ポイント | 網走 | 2022/04/27 | 2022 |
| 5 | ポイント | 帯広 | 2022/04/22 | 2022 |
| 6 | ポイント | 釧路 | 2022/05/08 | 2022 |
| 7 | ポイント | 室蘭 | 2022/04/25 | 2022 |
| 8 | ポイント | 函館 | 2022/04/21 | 2022 |
| 9 | ポイント | 仙台 | 2022/04/08 | 2022 |
| 10 | ポイント | 青森 | 2022/04/16 | 2022 |
| 11 | ポイント | 秋田 | 2022/04/12 | 2022 |
| 12 | ポイント | 盛岡 | 2022/04/14 | 2022 |
| 13 | ポイント | 山形 | 2022/04/11 | 2022 |

複数年のデータを入力する場合は、作成済みのデータを複製してデータを修正していきます。

コンテンツ ウィンドウで観測所ポイントを右クリックし、[データ] > [フィーチャのエクスポート] の順でクリックします。

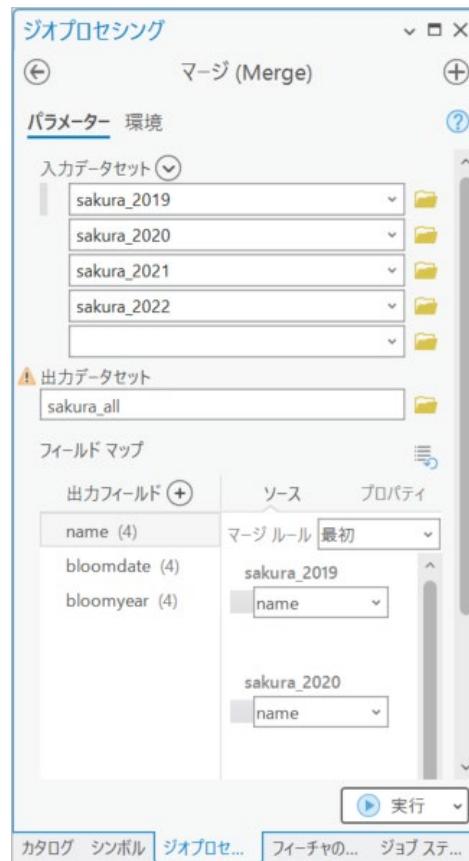


- ④ 「フィーチャのエクスポート」ツールが起動します。任意の出力場所、ファイル名を指定して [OK] をクリックします。



- ⑤ コンテンツ ウィンドウで⑤の出力結果のポイントを右クリックし、[属性テーブル] をクリックします。気象庁のページを参照し、数値を入力していきます。

- ⑥ ④～⑥を繰り返して、複数年分のデータを作成します。
- ⑦ 複数年分のデータを一つのファイルにまとめる処理をおこないます。ジオプロセッシングウィンドウの検索ボックスに「マージ」と入力して、「マージ (Merge)」ツールを起動します。パラメータは以下のように設定して [実行] をクリックします。
- 入力データセット：作成済みの複数年分のポイントデータ
 - 出力データセット：任意のファイル ジオデータベース、ファイル名



| | OBJECTID * | Shape * | 気象台 | 開花日 | 開花年 |
|----|------------|---------|------|------------|------|
| 54 | 54 | ポイント | 名瀬 | 2019/01/23 | 2019 |
| 55 | 55 | ポイント | 那覇 | 2019/01/10 | 2019 |
| 56 | 56 | ポイント | 石垣島 | 2019/01/16 | 2019 |
| 57 | 57 | ポイント | 宮古島 | 2019/01/07 | 2019 |
| 58 | 58 | ポイント | 南大東島 | 2019/01/25 | 2019 |
| 59 | 59 | ポイント | 札幌 | 2020/04/30 | 2020 |
| 60 | 60 | ポイント | 稚内 | 2020/05/10 | 2020 |
| 61 | 61 | ポイント | 旭川 | 2020/05/03 | 2020 |

複数年分の属性テーブルが結合されているのを確認できます

ステップ 3: シンボルの設定

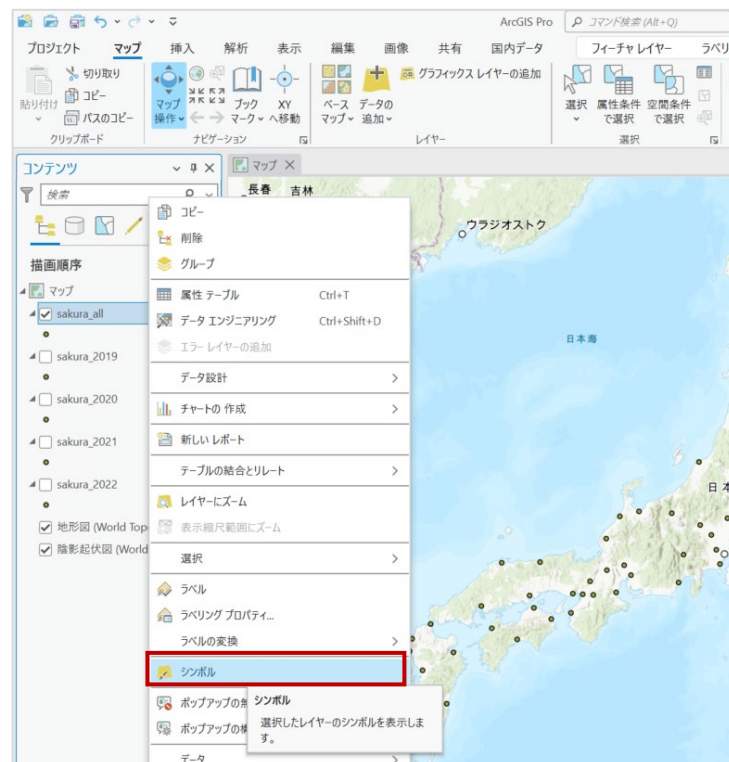
ArcGIS Pro には様々なシンボルが用意されていますが、ここでは手元の画像からオリジナルのシンボルを設定する手順について記載します。

- ① シンボル用の画像を用意します。

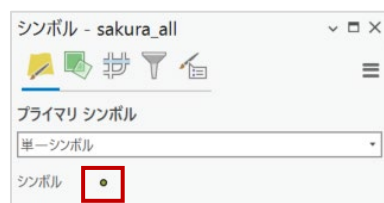
当資料では、以下の URL からダウンロードしたさくらの画像を使用しています。

<https://www.bezybox.net/sakura-icon01/>

- ② コンテンツ ウィンドウで、前頁⑧のマージ済みのポイント（以下、さくらポイント）を右クリックして [シンボル] をクリックします。



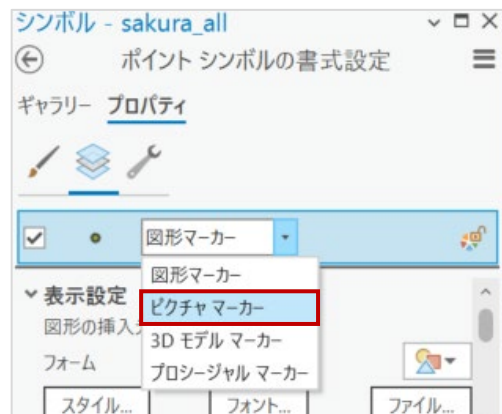
- ③ シンボル ウィンドウが表示されます。デフォルトでは単一シンボルになっています。シンボル横のポイントをクリックします。



- ④ ArcGIS Pro には様々なシンボルが用意されています。この中からシンボルを選ぶこともできますが、ここではさくらの画像をシンボルに設定します。[プロパティ] をクリックします。



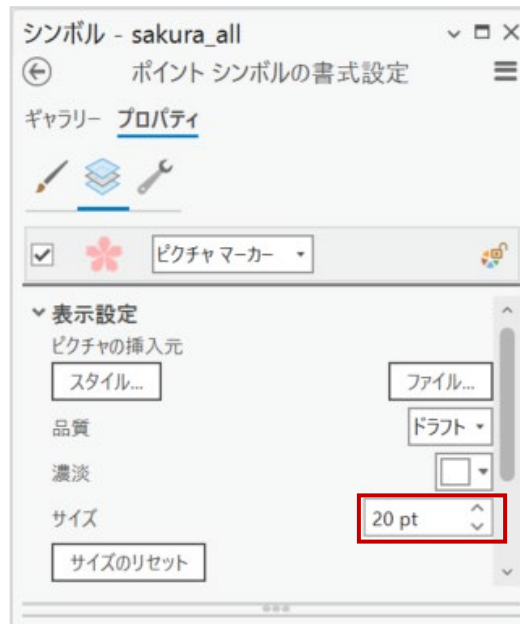
- ⑤ [図形マーカー] をクリックし、[ピクチャ マーカー] に変更します。



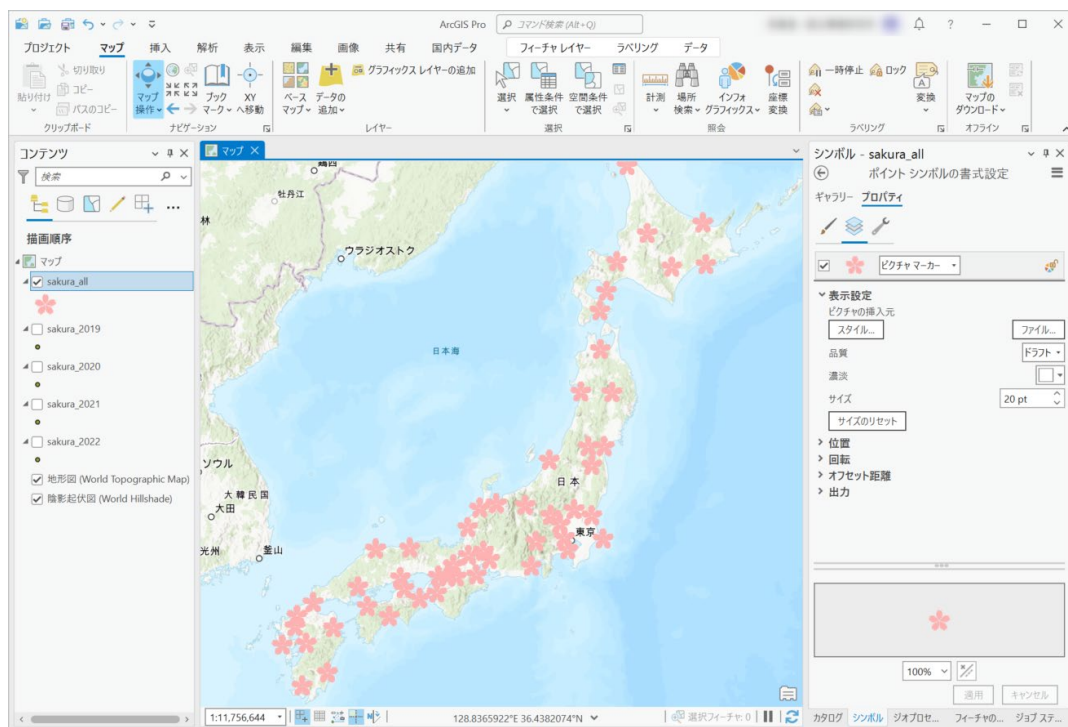
- ⑥ [ファイル] ボタンをクリックし、シンボルに設定したい画像を選択します。



- ⑦ 表示設定を下にスクロールし、サイズを20ptに変更します。



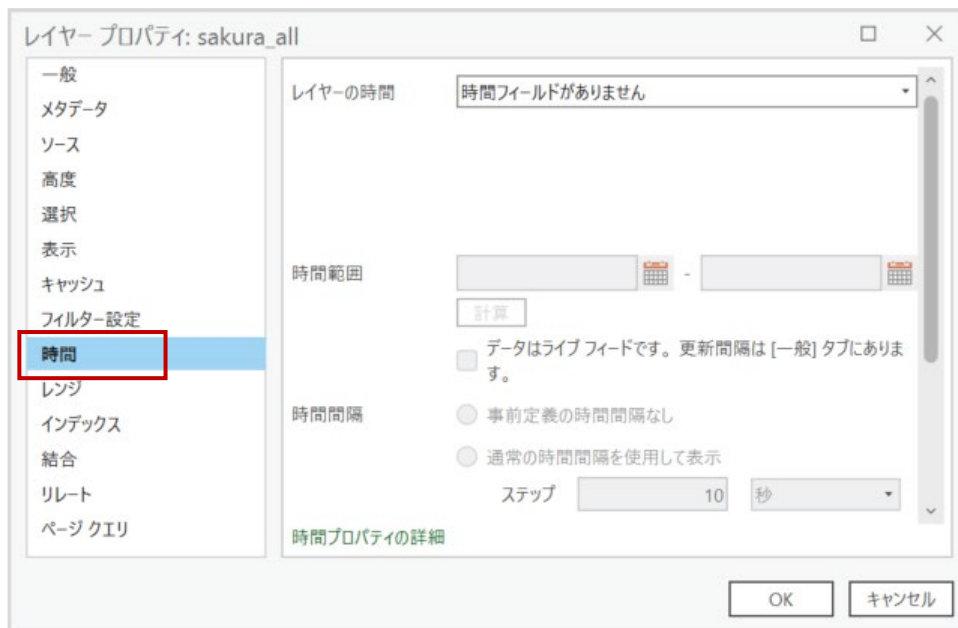
- ⑧ [適用] をクリックすると、マップ上のポイントのシンボルに反映されます。これでシンボルの設定は完了です。



ステップ 4: 時間設定の有効化

ここでは、[開花日] フィールドを時間用のフィールドとして設定し、時間設定を有効化します。

- ① レイヤーを右クリックし、最下部の [プロパティ] をクリックします。
- ② [時間] をクリックします。



③ 時間プロパティを以下のように設定します。

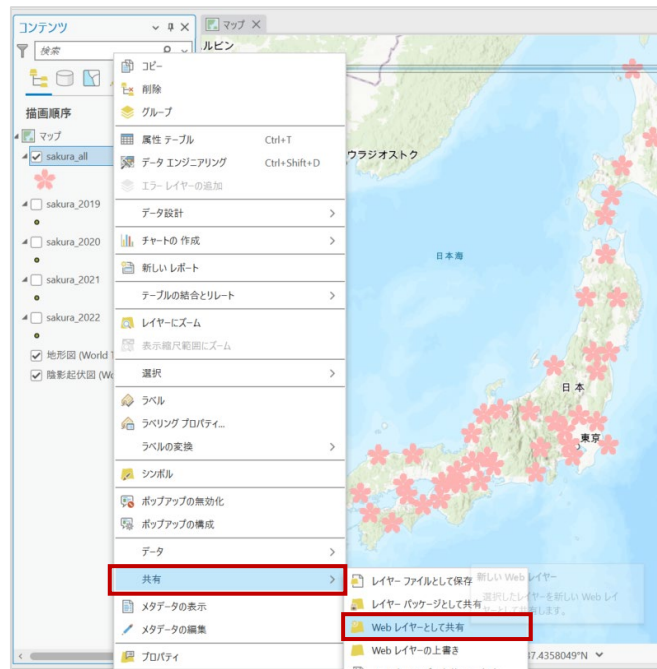
- レイヤーの時間：各フィーチャに1つの時間フィールドがあります
- 時間フィールド：開花日
- 時間範囲：デフォルト
- 時間間隔：事前定義の時間間隔なし
- タイムゾーン：(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京

④ [OK] ボタンをクリックして時間設定を終了します。

ステップ 5: Web レイヤーとして共有

ArcGIS Pro で作成したレイヤーをアプリで使用するため、ArcGIS Online にアップロードします。

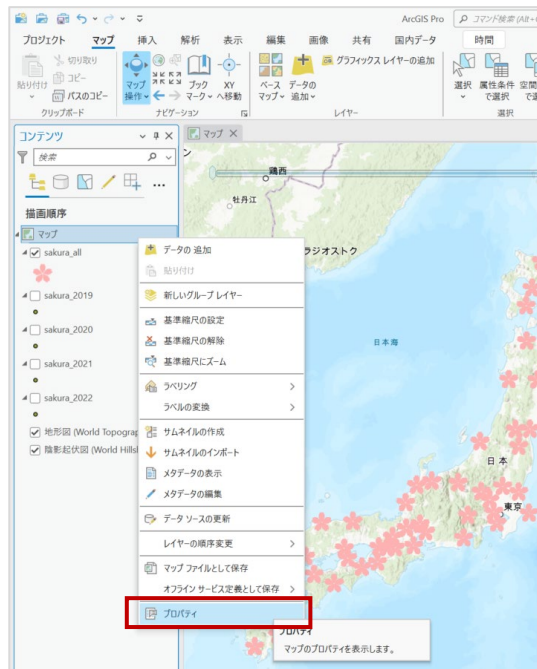
- ① さくらポイントを右クリックし、[共有] > [Webレイヤーとして共有] の順でクリックします。



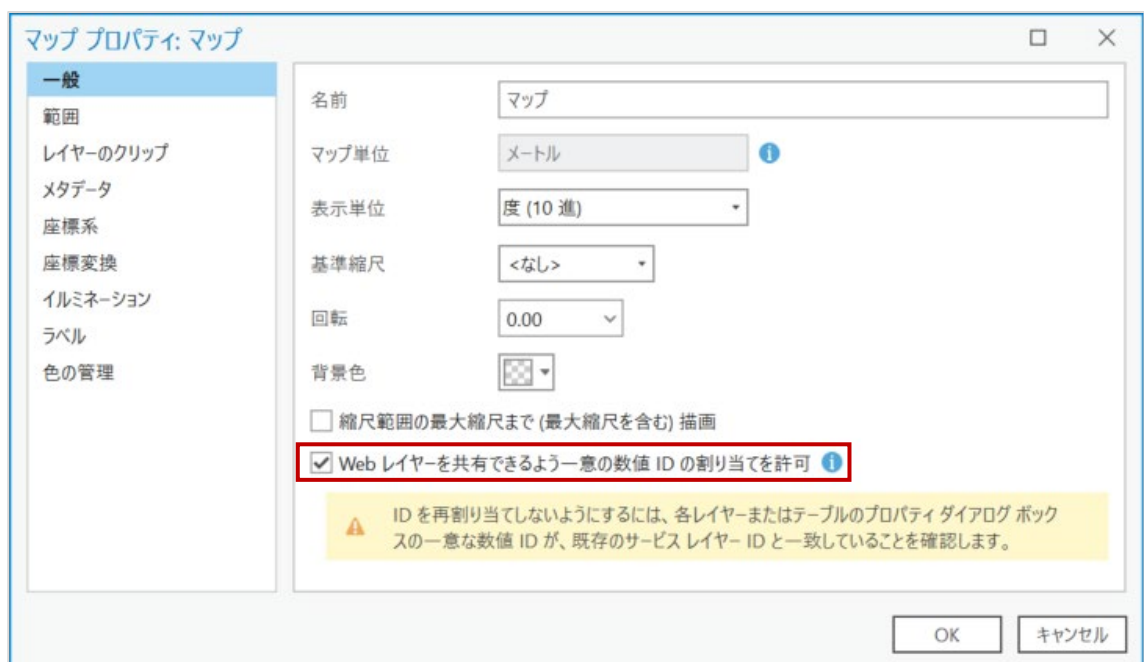
- ② 「選択したレイヤーを Web レイヤーとして共有」ツールが起動します。任意の名前、概要、タグを入力します。レイヤータイプは「フィーチャ」を選択します。
- ③ [分析] ボタンをクリックし、エラーが発生した場合はガイドに従ってエラーを解消します。「00374 一意の数値IDが割り当てられていません」というエラーが発生した場合は、次の手順の通りにマップ プロパティで設定する必要があります。



- ④ コンテンツ ウィンドウの「マップ」を右クリックして「プロパティ」をクリックします。



- ⑤ [Webレイヤーを共有できるよう一意の数値 ID の割り当てを許可] にチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。



- ⑥ 全てのエラーが解消されたら、[公開] ボタンをクリックします。

Web レイヤーとして共有 ? v □ ×

選択したレイヤーを Web レイヤーとして共有

一般 構成 コンテンツ

アイテムの詳細

名前
sakura_all

概要
さくらの開花日情報を付与したポイントデータ

タグ
さくら × タグの追加

レイヤー タイプ ⓘ

☒ フィーチャ
☐ タイル
☐ ベクター タイル
☒ フィーチャ ⓘ

場所

フォルダー
さくらの開花日

次のグループと共有

☐ すべての人に公開
☐ 国立環境研究所
 グループ ▼

共有の完了

☒ 分析 ☒ 公開 ☐ ジョブ

- ⑦ Web レイヤーの公開が完了すると、ArcGIS Online のマイコンテンツ内に指定したフォルダーに Feature Layer と Service Definition（サービス定義）が保存されているのを確認できます。Service Definition の詳細は下記をご参照ください。

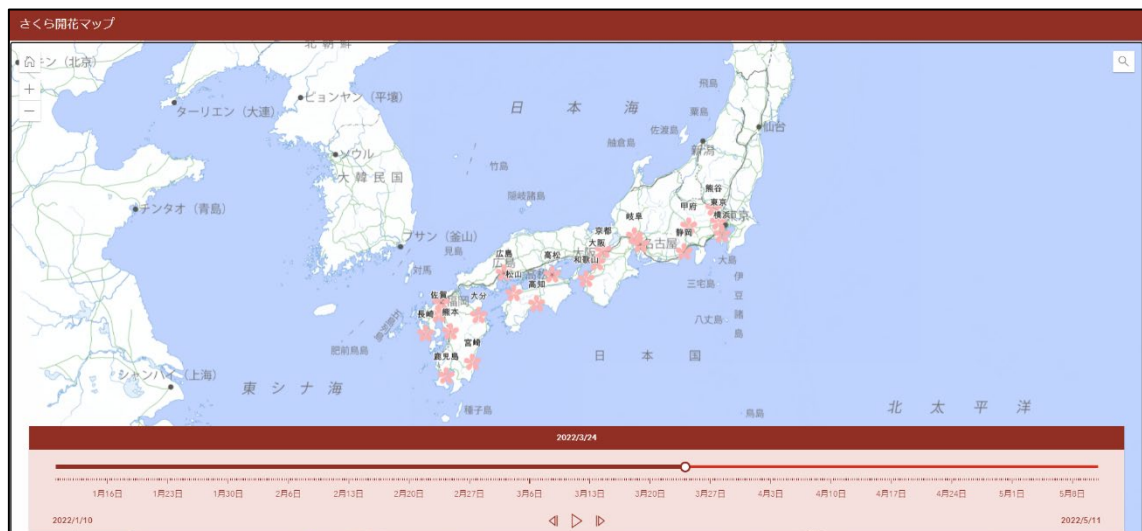
「ArcGIS Pro サービス定義の保存の概要」

<https://pro.arcgis.com/ja/pro-app/latest/help/sharing/overview/introduction-to-saving-service-definitions.htm>

| □ タイトル | | | | 更新日 ▼ |
|--------------|---------------------|---|-------|------------|
| □ sakura_all | Feature Layer (ポスト) | 🔒 | ☆ ... | 2022年9月29日 |
| □ sakura_all | Service Definition | 🔒 | ☆ ... | 2022年9月29日 |

Webマップの作成

ここでは、ArcGIS Pro から共有したレイヤーを地図表示するための Web マップを用意します。Web マップをもとに、開花情報閲覧アプリを新規に作成します。

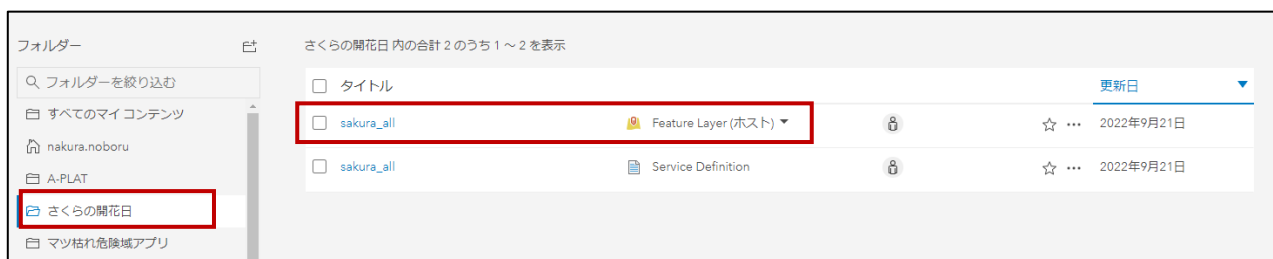


完成イメージ

ステップ 1: Webマップの作成

- ① PC の Web ブラウザーを起動し、ArcGIS Online のサイト www.arcgis.com にアクセスして、サイン インします。
- ② サイン インした画面の上部にある [コンテンツ] をクリックします。

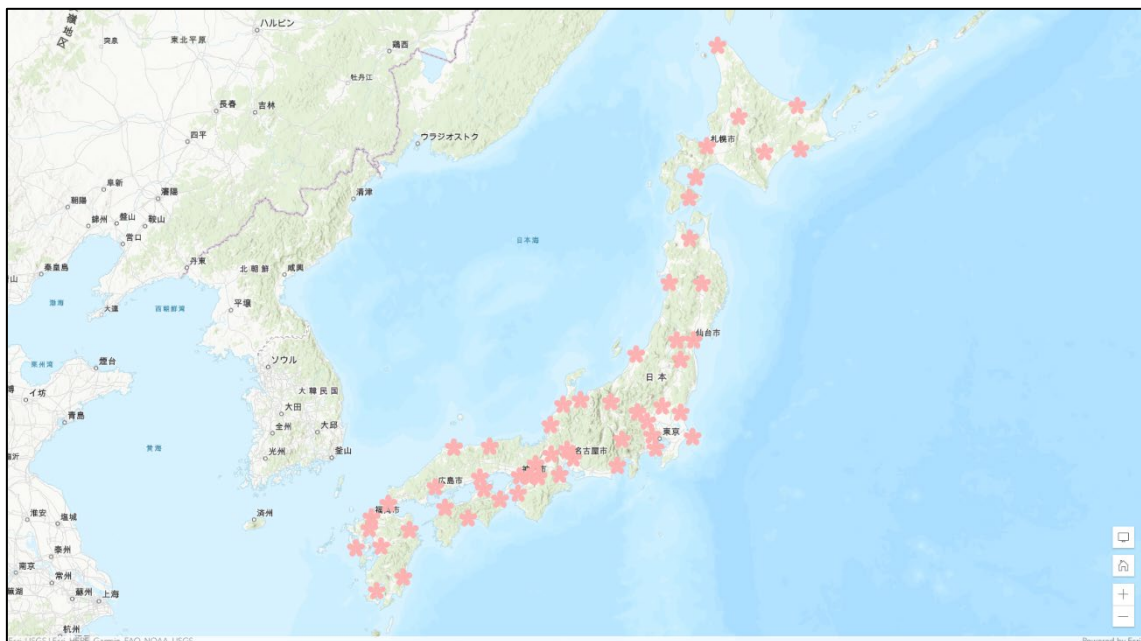
あらかじめ作成しておいた [さくらの開花日] のフォルダーの中に「sakura_all」のフィーチャ レイヤーが保存されているか確認します。



- ③ 「sakura_all」の「Feature Layer (ホスト)」をクリックし、[マップビューアーで開く]をクリックし、マップビューアーを開きます。



The screenshot shows the ArcGIS Online interface for the 'sakura_all' item. The top navigation bar includes '概要' (Overview), 'データ' (Data), 'ビジュアライゼーション' (Visualization), 'ステータス' (Status), and '設定' (Settings). The '概要' tab is active. On the right, a dropdown menu is open, showing 'Map Viewer で開く' (Open in Map Viewer) as the selected option, with other options like 'シーンビューアで開く' (Open in Scene Viewer) and 'ArcGIS Desktop で開く' (Open in ArcGIS Desktop). The main content area displays a thumbnail map, a description, and a list of layers. The 'sakura_all' layer is selected.



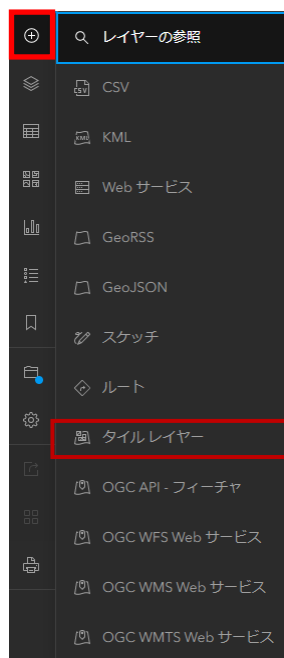
以上で、Web マップの作成が完了しました。

ステップ 2: ベースマップの設定

- ① 続いて国土地理院で公開されている地理院地図（淡色地図）をベースマップとして追加します。（<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>）

[追加] > [タイル レイヤーの追加] より、レイヤーの詳細を以下のように設定します。

- ・ URL・・・<https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/pale/{level}/{col}/{row}.png>
- ・ タイトル・・・「地理院タイル 淡色地図」
- ・ 帰属・・・「国土地理院」
- ・ [ベースマップとして使用]



×

タイルレイヤーの追加

レイヤーの詳細

↑

URL ⓘ

<https://cyberjapandata.gsi.go.jp/xyz/pale/{level}/{col}/{row}.png>

タイトル

地理院タイル 淡色地図

帰属

国土地理院

☐ タイルの範囲をマップの現在の範囲に設定

マップへの追加

ベースマップとして使用



ベースマップ追加イメージ

ステップ 3: ラベルの設定

- ① 右側のメニュー バーより上から8番目のラベルマークをクリックします。[ラベルの有効化] がアクティブな状態になっているのを確認し、[+ラベルクラスの追加] をクリックします。ラベルの設定は以下のように設定します。

[ラベルフィールド]

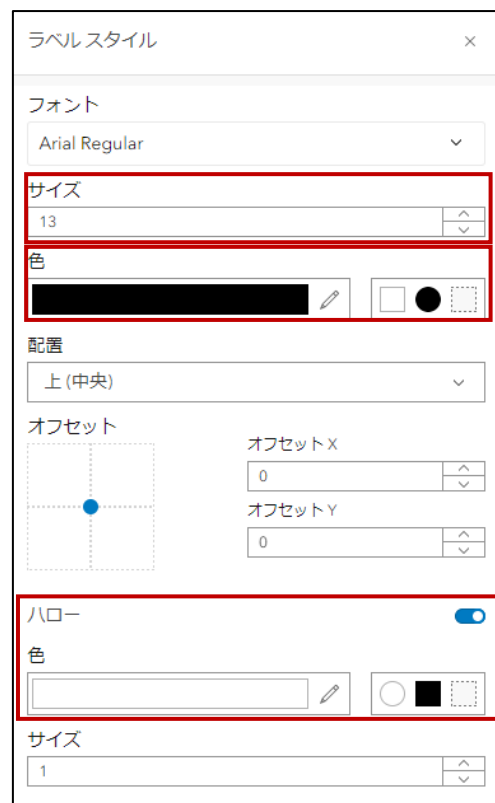
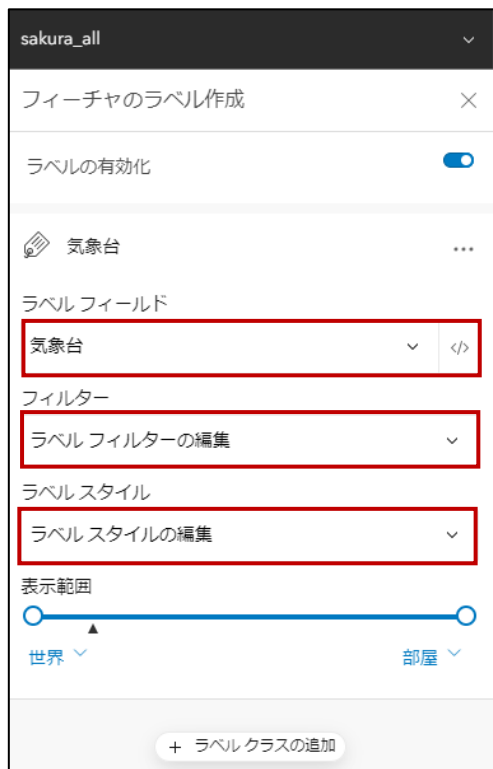
「气象台」

[フィルター]

デフォルト値

[ラベルのスタイル]

- ・サイズ・・・「13」
- ・色・・・「#000000」
- ・ハローの色・・・「#FFFFFFF」





ラベル追加イメージ

ステップ 4: タイムスライダーの設定

- ① 左側のメニューバーの下から4番目の [マッププロパティ] を選択し、[タイムスライダー オプション] を開きます。



- ② タイムスライダー オプションは以下のように設定します。

[始点と終点]

時間表示・・・「フィーチャを段階的に表示」

開始日・・・「2022/1/10」

終了日・・・「2022/5/10」

[時間間隔]

個数・・・「1」

単位・・・「日」

[再生位置]

「マップで保存されている位置から再生」

[再生速度]

デフォルト値

<

タイムスライダー オプション

▼ 始点と終点

時間表示

フィーチャを段階的に表示

開始時間と終了時間の間にあるフィーチャが段階的に表示されます。

開始日

開始時間

2022/1/10

00:00:00

終了日

終了時間

2022/5/11

00:00:00

▼ 時間間隔

☒ 1つの間隔の長さ

個数

単位

1

日

☐ 均等なステップ数に分割された合計時間

▼ 再生位置

☐ 開始時間から再生

☒ マップで保存されている位置から再生

▼ 再生速度

遅い

速い

設定が完了すると、タイムスライダーが表示されます。



タイムスライダー追加イメージ

ステップ 5: Webマップの保存

- ① [保存と開く] ボタンをクリックして [タイトル] と [タグ] を入力し、保存するフォルダーを選択して名前を付けて保存をします。

+

 追加

≡

 レイヤー

🗺

 テーブル

🗺

 ベースマップ

📊

 チャート

☰

 凡例

📌

 ブックマーク

📄

 保存と開く

⚙

 マッププロパティ

🔗

 マップの共有

📱

 アプリの作成

🖨

 印刷

×

マップの保存

タイトル

さくら開花マップ

タグ

さくら×

さくら開花マップ×

タグの追加

サマリー

マップの説明

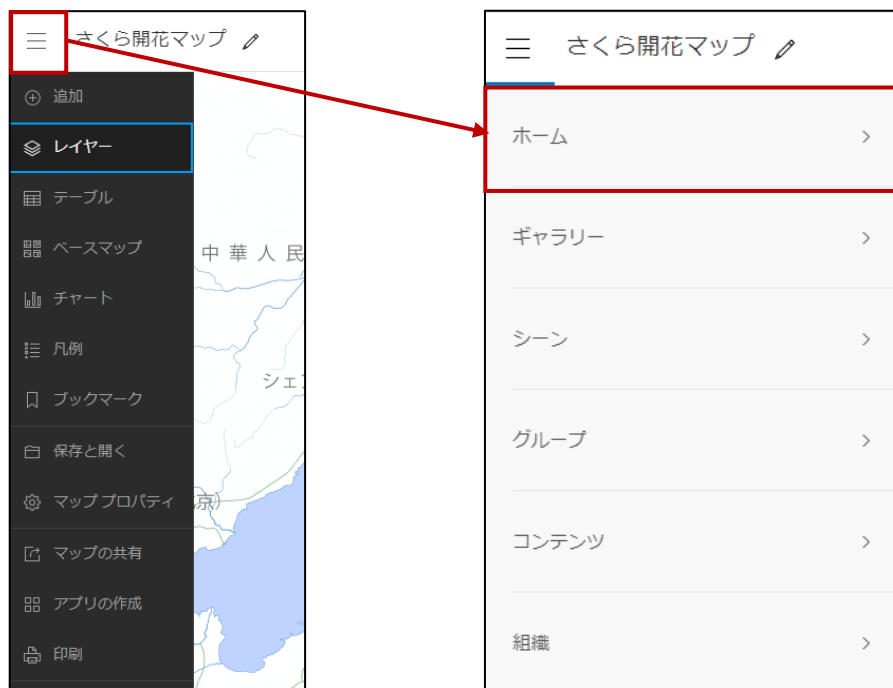
フォルダーに保存

さくらの開花日

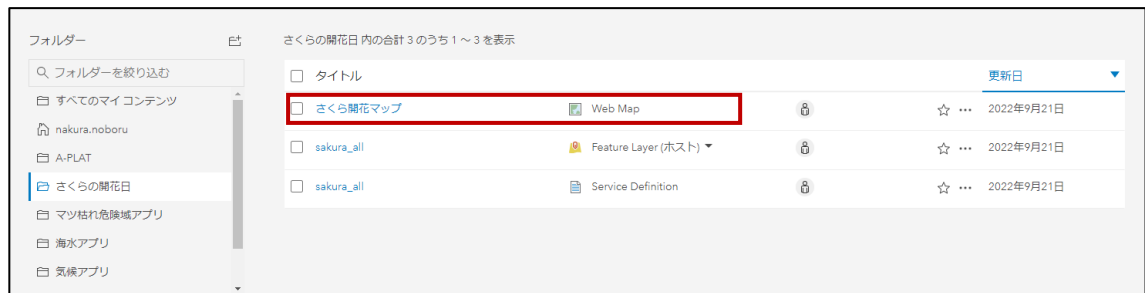
キャンセル

マップの保存

- ② [ホーム] メニュー配下の [コンテンツ] をクリックし、[マイ コンテンツ] を開きます。



- ③ 「さくら開花マップ」が[Web Map]形式でマイ コンテンツに新規に作成されています。



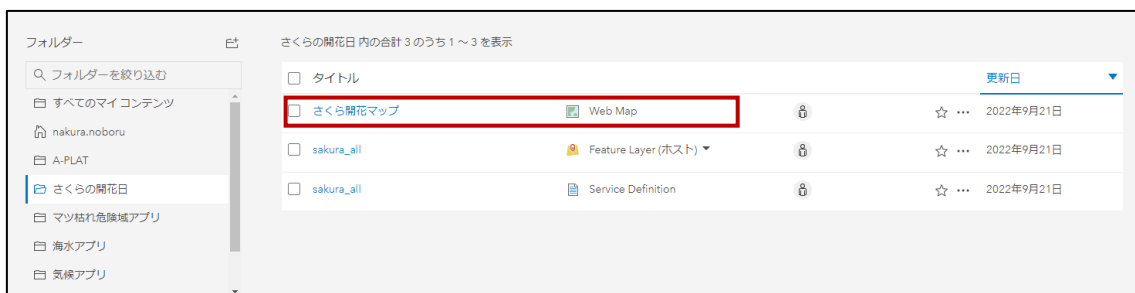
以上で、Web マップの保存が完了しました。

閲覧アプリの作成

ステップ 1: アプリケーションの新規作成

ここでは、「さくらの開花マップ」の閲覧アプリを新規に作成します。

- ① 「さくら開花マップ」(タイプが [Web Map] と表示されているアイテム)をクリックし、開きます。

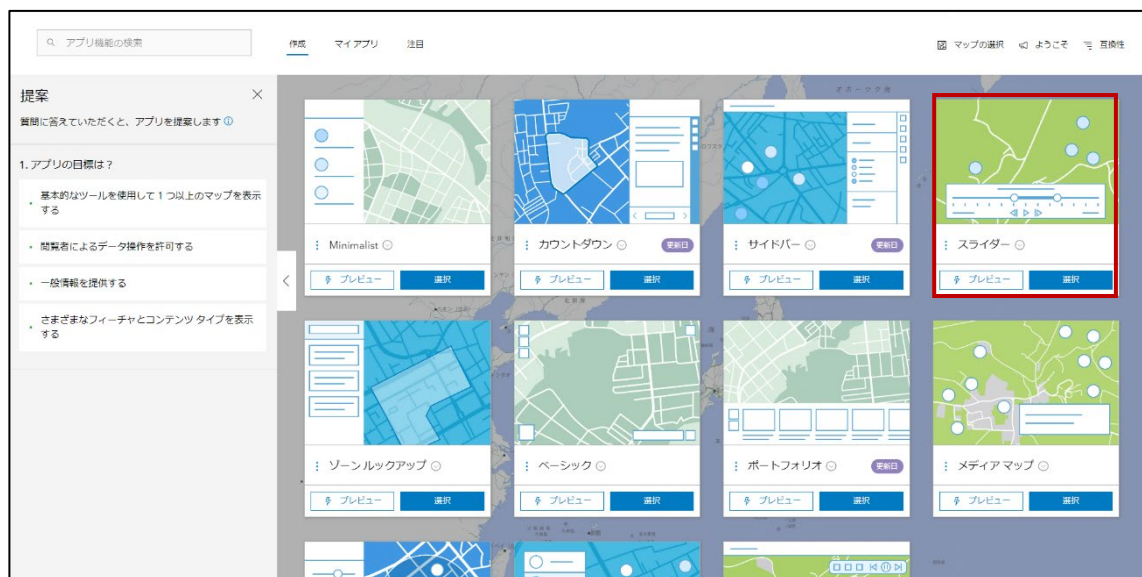


- ② [Web アプリの作成] から [Instant Apps] をクリックします。



※ **ArcGIS Instant Apps** とは・・・ユーザーが簡単に操作できるようあらかじめテンプレートが用意されており、そのテンプレートにしたがってWebアプリを作成します。スピード感をもってアプリを作成することができます。

- ③ Instant Apps を開くと、テンプレート画面が表示されます。今回は時系列データを表現するのに適している [スライダー] のテンプレートを使用します。スライダーのテンプレートの [選択] ボタンをクリックします。



- ④ テンプレートを選択するとアプリの作成画面が開きます。「タイトル」、「タグ」、「保存するフォルダー」を選択し、アプリの作成を行います。

アプリの作成 - スライダー

×

アプリのタイトルを入力

さくら開花マップ

×

タグの追加

さくら ×

さくら開花マップ ×

タグの追加

▼

フォルダーに保存

さくらの開花日

▼

閉じる

アプリの作成

ステップ 2: マップの作成

- ① テンプレートのステップに沿ってアプリを作成していきます。 ステップ 1 の [マップの選択] よりマップを選択します。さくらの開花マップが選択されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

[< 戻る](#)[次へ >](#)

ステップ 1 | 高速

さくら開花マップ

所有者:
[redacted]

説明:
説明はありません。

[アイテム詳細の表示](#) 



マップの選択

[Map Viewer で開く](#) 

[Map Viewer Classic で開く](#) 

ステップ 3: スライダーの設定

- ① ステップ 2 のスライダーの設定を行います。今回の作業では全てデフォルト値のまま次のステップへ移ります。

[< 戻る](#)[次へ >](#)

ステップ 2 | 高速

オプションの選択

数値

時間

時系列アニメーションのループ再生 ⓘ ☒

アクティブでないフィーチャの効果 ⓘ

非表示

再生速度 ⓘ

遅い 速い

スライダー モードの選択 ⓘ

Web マップから継承

ライブおよび予測の時間設定 ⓘ ☐

ステップ 4: 情報の設定

- ① ステップ3でアプリのタイトルを入力します。タイトルを入力したら、[次へ] をクリックします。

[< 戻る](#)[次へ >](#)

ステップ 3 | 高速

ヘッダー [i](#) ☒

アプリのタイトル [i](#)

さくら開花マップ

概要パネル [i](#) ☐

固定されたポップアップ位置 [i](#) ☐

ステップ 5: 対話性の設定

- ① ステップ4でアプリに搭載する機能を設定することができます。今回は何も設定せずに[次へ] をクリックします。

< 戻る

次へ >

ステップ 4 | 高速

レイヤー リスト

i ☐

スクリーンショット

i ☐

検索

i ☒

検索構成

デフォルトソースの選択

ArcGIS World Geocoding Service

ソース

名前

編集

🏠

ArcGIS World Geocoding Service

...

追加

ステップ 6: テーマとレイアウトの設定

- ① ステップ5でテーマとレイアウトを変更できます。こちらでアプリの色合いを変更することができます。[テーマ] と[設定済みのテーマ] を「ばら色」に変更します。

[戻る](#)

ステップ 5 | 高速

モードの選択

明色

テーマ ⓘ

ばら色

スライダーの不透明度の切り替え ⓘ ☐

設定済みのテーマを選択 ⓘ

 ばら色

スライダー配置

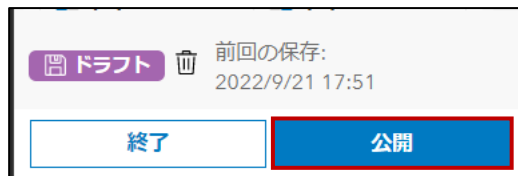
下

ウィジェット的位置を管理 ⓘ

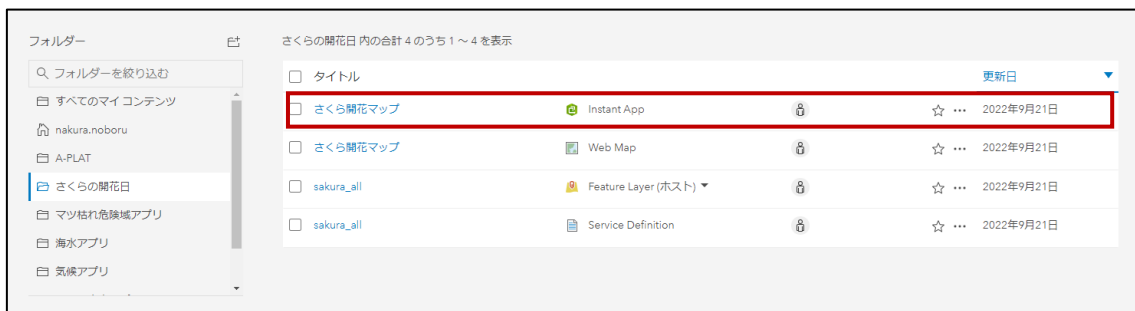
| | |
|---|---|
|  左上 |  右上 |
|  ホームボタン |  検索 |
|  ズームコントロール | |
|  左下 |  右下 |
| | |

ステップ 7: アプリの公開

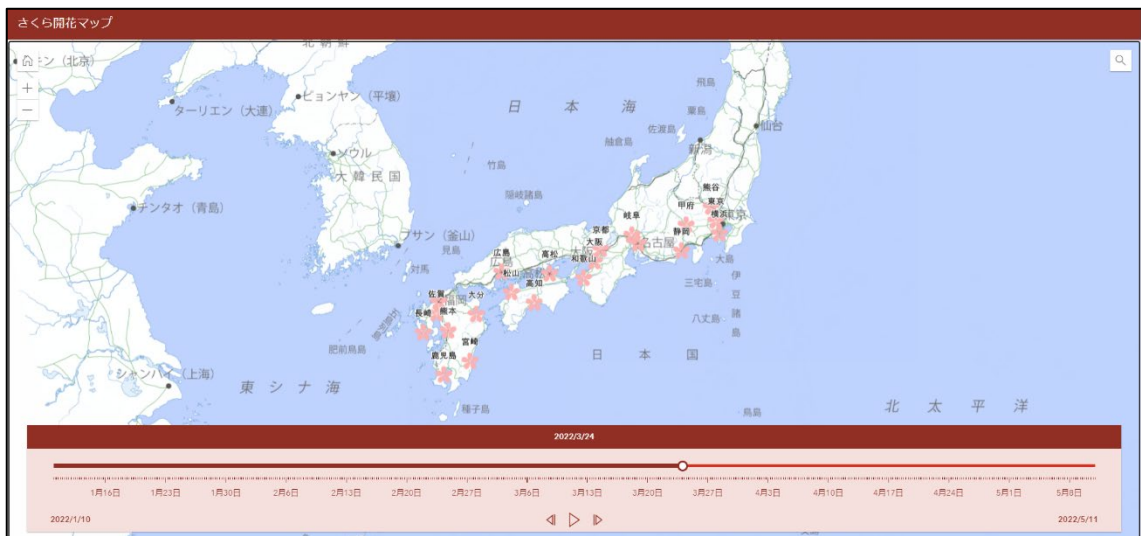
- ① アプリの設定が完了したらアプリを公開します。一番下の [公開] ボタンをクリックしてアプリを公開します。※ここでの公開は編集内容の確定（下書きの保存）を意味します。一般ユーザーに公開されるわけではありません。



- ② アプリを公開したら、「マイコンテンツ」に戻りアプリが保存されているか確認します。



以上で、さくらの開花マップのアプリが完成します。



完成イメージ

以上

本手順書は以下発行時の内容となっており、今後画面に変更が生じることもあります。
必要に応じて本手順書が公開されているWebページ下部にある参考資料をご参照ください。

2022年9月30日 第1版発行

© National Institute for Environmental Studies. 2022